

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

庄内快適住宅

グループの名称

庄内の『快適な家』を造る研究会

直近採択グループ番号

04-336 -0129

(グループ代表者)

代表者名

五十嵐 良二

代表者印

代表者所属先

五十嵐工務店

代表者所在地

山形県鶴岡市みどり町21-4

代表者電話番号

0235-22-7092

(グループ事務局)

事務局事業者名

阿部多 株式会社

事務局担当者名

五戸 徳美

印

事務局郵便番号

997-0003

事務局所在地

山形県鶴岡市文下字沼田44-1

事務局電話番号

0235-24-3141

事務局FAX

0235-24-3144

事務局担当者E-mail

t.goto-ke@abeta.co.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	庄内快適住宅
2. グループの名称(必須)	庄内の『快適な家』を造る研究会
3. 直近採択グループ番号(必須)	04-336-0129
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	山形県庄内地域等
5. 結成年(必須)	2015 年
6. グループ代表者名(必須)	五十嵐 良二
7. グループ代表者の所属先(必須)	五十嵐工務店
8. グループ代表者所在地(必須)	山形県鶴岡市みどり町21-4
9. グループ代表者電話番号(必須)	0235-22-7092
10. グループ事務局事業者名(必須)	阿部多 株式会社
11. グループ事務局担当者名(必須)	五戸 徳美
12. グループ事務局郵便番号(必須)	997-0003
13. グループ事務局所在地(必須)	山形県鶴岡市文下字沼田44-1
14. グループ事務局電話番号(必須)	0235-24-3141
15. グループ事務局FAX番号(必須)	0235-24-3144
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	t.goto-ke@abeta.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	8	地域材の産地に海外が含まれる原木供給業者においては、必要とする証明書が取れないため登録を行っていない
II. 製材・集材製造・合板製造	11	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	5	
IV. プレカット	3	
V. 設計	16	
VI. 施工	35	
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPC認証制度を利用する		全国		3	国内
		国外		3	国外
		国外		2	国外
		全国		2	国内
		全国		2	国内
		全国		2	国内
	県産 やまがたの木	山形県	県産木材「やまがたの木」認証制度	1	国内
	ちばの木	千葉県	ちばの木認証制度	1	国内

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		2	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸					
		申請が未確定(上限100万円)		3	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸					
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸					
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸					
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		2	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸					
		申請が未確定(上限100万円)		3	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸					
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		3	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸					
		申請が未確定(上限100万円)		3	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)			戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸						
	申請が未確定(上限150万円)			戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		2	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸						
	申請が未確定(上限165万円)		3	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸						
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	棟	/						
			m ²							
		申請が未確定	棟							
			m ²							
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	事務局より期日を決め募集、契約状況・着工期日を確認の上配分とする。また申請希望棟数が上回った時は、未経験会員へ優先配分を考え話し合いを持つ。									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
	補正予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数		棟	交付申請戸数		棟	完了実績(竣工予定含む)棟数		戸	
当初予算	採択床面積		m ²	交付申請床面積		m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積		m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 庄内快適住宅	(地域型住宅供給対象地域) 山形県庄内地域等
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 庄内の『快適な家』を造る研究会	(結成年) 2015 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-336 -0129	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	断熱性能の強化及び寒暖の差による劣化軽減を図る。 また、冬場対策としての気密化の強化と計画換気を重視する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	山形県が地域ごとに定めた耐雪基準を満たす構造とする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	高性能化と共に軒の出・屋根は、夏季・冬季の日射を考慮し、庄内地域に適した形状(パッシブデザイン)の住宅とする。	○
④①～③の背景	日本海と出羽三山の間に広がる庄内地域は、寒暖の差が大きく、夏場は高温多湿、冬場は暴風雪の日が多く日照が少ない地域で、この厳しい環境の中で快適に暮らす良質な住宅の供給を目指す。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	本格的なストック型社会を迎え、住宅の履歴情報の蓄積管理、リフォームにおいても、断熱・気密の技術向上に積極的に取り組む。	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容: 断熱材及び開口部など外皮に関する物について、基本的にグループの仕様を統一する。	○
①-2 使用建材の統一	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 25年省エネ基準を上回る建物とする。	○
①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局で物件情報を集約・把握し、共同購入によるコストダウンを目指す。	○
②-1 建材・資材調達の商品化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 発注から納品までのデリバリーを管理する。	○
②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 会長、事務局担当、会員4名で構成 年4回開催	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局は資材に関する情報を施工・設計メンバーに共有すると共に、物件情報を流通メンバーへ提供し効率の良い納材をする。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容: 構造・断熱・気密に関する施工基準を作成する。	○
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある → 内容: チェックシートを活用し、運営委員会で確認する。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: ない □ ある → 内容:	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	■ ない □ ある → 内容: ホームページの活用	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容:	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 庄内快適住宅	(地域型住宅供給対象地域) 山形県庄内地域等
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 庄内の『快適な家』を造る研究会	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-336-0129	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報は履歴サービス期間の仕組みを活用し、30年間の履歴情報の蓄積、管理をルール化する。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: JKサポートセンターなどの第三者機関を活用する。	◎
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 運営委員会において適切になされているかチェックする。	○
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: インспекション・ガイドライン等を活用する。	○
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: インспекション・ガイドラインのチェックシートを活用する。	○
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関等の住宅履歴管理サービスにて点検補修時期の確認をする。	○
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住まいの履歴管理、診断、点検方法などの勉強会を実施。 講師:JKサポートセンター/年1回開催	○
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: DIY体験会を実施。 講師:事務局主幹/年1回開催	○
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: リフォーム相談、困りごと相談会を実施。 相談受付者:事務局主幹で外部講師など/年1回開催	○
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 運営委員会の中で維持管理委員会を設置する。 年2回開催	○
⑤	その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 継続的な顧客管理をする上で、施工メンバーが定期点検を実施することが困難な場合、点検代行サービスを利用して、確実な点検実施を義務づける。	○
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: グループ構成員が倒産廃業に至った場合は、グループ代表及び事務局がお客様対応説明にあたり、グループの施工メンバーから引継ぎ事業者を紹介し、継続的な維持管理をおこなう。	○
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵保険会社の講師を招き、勉強会を実施する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 技術研修会を外部講師及びグループ構成員を講師に年2回実施。	○
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 品質管理のチェックシートを作成する。	○
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 運営委員会で確認する。	○
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長寿命型、高度省エネ型住宅の未経験メンバーへのサポート(各種計算、申請手続、技術指導)体制を作り、2年以内には、全施工メンバーの需給を目指す。	○
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 段階的に技術向上を図るため、外部講師及びメーカー等による研修会をおこなう。	○
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計・流通・施工の各業者相互の改善及び合理化案を取りまとめ、事務局を通して共有化出来る仕組みを作る。	○
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 28 今年度の参加目標人数 15	○
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 25 今年度の参加目標人数 12	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局より省エネ技術講習会の情報発信、促進する。	◎
c		
①	新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 外部講師・メーカー等による研修会・現場実習の実施。	◎
②	新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記によって得た新技術について、メンバー内で導入現場の検討→実施→報告→検証をする。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 庄内快適住宅	(地域型住宅供給対象地域) 山形県庄内地域等
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 庄内の『快適な家』を作る研究会	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	04-336-0129	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成29年度対応方針】

		◎、○ 記入欄												
a	① 地域材利用に関する共通ルール (必須)	主要構造材並びに2次部材に山形県産材又はグループ指定の地域材(各合法木材・各認証木材)を使用する。 ◎												
	② 地域材利用の1棟当たりの割合 (必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="checked" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上												
	③ 標準的な地域材の使用部位 (必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="checked" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="checked" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="checked" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="checked" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="checked" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="checked" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> 原木供給業者 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px; text-align: center;"> 製材 集成材 合板製造 グループ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px; text-align: center;"> プレカット </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px; text-align: center;"> 建材流通 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 施工グループ </div> </div> ・可能な限り山形県産材(県産やまがたの木)を第一優先とし、次にグループ指定の地域材を使う。 ・施工グループの中に若手に技術を伝承するため、全て手刻みによる加工をおこなう場合がある。 その場合、地域材を直接製材グループから購入することができる。	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="checked" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="checked" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="checked" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="checked" type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="checked" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="checked" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="checked" type="checkbox"/> 使用している												
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="checked" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="checked" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="checked" type="checkbox"/> 使用している													
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="checked" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input checked="checked" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明														
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="checked" type="checkbox"/> ある → 内容: 在庫量に変動がある場合は、製材事業者から各構成員に連絡する。 ◎												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="checked" type="checkbox"/> ある → 内容: 価格に変動がある場合は、製材事業者から各構成員に連絡する。 ◎												
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="checked" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局で得た情報を定期的にメンバーに発信する。 ◎												
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="checked" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算):60枚 ○												
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="checked" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数:100坪 ○												
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="checked" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算):36枚 ○												
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="checked" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算):36枚 ○												
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input checked="checked" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今後検討予定 ○												
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="checked" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今後検討予定 ○												
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input checked="checked" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今後検討予定 ○												
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="checked" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 冷暖房が不要な季節に、通風を確保できるような間取りの設計を考慮する。 ○												
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="checked" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 設計段階で近隣の住宅デザインを考慮し、町並みに合った設計デザインを推奨する。 ○												
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="checked" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 縁側、畳コーナー等、和の要素を取り入れる提案もする。 ○												
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	施工メンバーの協力業者は、可能な限り地元の職人に仕事を依頼し、地域の活性化を寄与する。 ◎													

カ. その他

【平成29年度対応方針】

		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	復興住宅の建築にあたり、職人派遣の依頼があった場合、グループとして協力していく。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 庄内快適住宅	(地域型住宅供給対象地域) 山形県庄内地域等
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 庄内の『快適な家』を造る研究会	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-336-0129	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

庄内の『快適な家』を造る研究会が取組む住宅の特徴と性能
特徴: 山形県産材を主に、地域材を使用し、断熱性・耐久性・省エネ性の優れた住む人のライフスタイル合わせた快適な家

庄内快適住宅 ゼロエネルギー住宅の特徴

*グループ独自の特徴として、太陽光発電システムの容量にたよらず、出来る限り住宅自体の性能(高断熱化)に特化した住宅とする。

<ゼロ・エネルギー住宅>

*外皮性能の強化及び高効率設備機器・<太陽光発電>の採用で年間一次消費エネルギーが正味ゼロの住宅
(平成28年改正基準-BELSによる性能評価)

性能

1. 断熱性能 外皮平均熱貫流率 UA値 3地域0.48w/m²k以下 4地域0.56w/m²k以下とし可能な限り0.4w/m²k以下を目指す
2. 気密性能 C値 2.0cm/m²(目標1.0cm/m²以下)
3. 換気計画 第1種及び第3種換気システムを採用
4. 高効率設備の採用
5. LED照明機器の採用

*太陽光を除いた一次消費エネルギー削減率 Ro 30%以上(3地域・4地域)

*蓄電池・HEMSの導入を推進

<認定低炭素住宅>

性能

1. 断熱性能 外皮平均熱貫流率 UA値 3地域0.56w/m²k以下 4地域0.75w/m²k以下
 2. 気密性能 C値 2.0cm/m²以下を目指す
 3. 計画換気 第1種換気・または第3種換気を可能な限り採用
 4. 高効率給湯設備の採用
 5. LED照明器具の採用
- *一次消費エネルギー削減率 Δ10%以上(20%目標)

<性能向上計画認定住宅>

性能

1. 断熱性能 外皮平均熱貫流率 UA値 3地域0.56w/m²k以下 4地域0.75w/m²k以下
 2. 気密性能 C値 2.0cm/m²(目標1.0cm/m²以下)
 3. 換気計画 第1種及び第3種換気システムを可能な限り採用
 4. 高効率給湯設備の採用
 5. LED照明機器の採用
- *一次省エネルギー削減率 Δ10%以上(20%目標)